



井原市立井原中学校通信
第1号
令和2年7月31日
文責：川上 吉弘

【一学期終業式】

新校舎へ移転、簡素化した入学式、緊急事態宣言、外出自粛、休校措置、分散登校、そして学校再開と激動の中で、今、令和2年度の1学期が終わろうとしています。いわゆる「コロナ禍」の中で今まで当たり前と思っていたものが大きく崩れ、ストレスを感じている人も多いことでしょう。オリンピックをはじめ各種スポーツ大会の多くが中止となるなか、備南西地区では地区総体に替わる大会を模索し、可能な種目については8月上旬に開催の予定としています。無事に開催され、3年生にとっては一つのけじめとなることを願います。

残念ながら3年生の修学旅行は中止となりましたが、体育会は9月3日に簡略化した形で開催予定です。全校生徒が一堂に集まり、行う行事としては今年度、最初で最後になってしまうかもしれません。無観客であることが残念ですが、今できる最高のパフォーマンスを発揮してくれたらと思っています。

先が見えない時こそ、基本に立ち返ることが大切です。アンパンマンの作者やなせたかし氏によると、人間が一番うれしいことは、人を喜ばせることだそうです。また、修行を積んだ高僧に生きていくうえで最も難しいことは何かと尋ねたところ、毎朝、同じ時間に花木に水をやることだと答えたそうです。

自分の夢を実現して、多くの人を喜ばせることができるよう、今できることを大切にして、日々を積み上げていきましょう。



【新校舎】

従来の公立中学校の概念を越える素晴らしい校舎です。これが、井原市民によるこれからの中学校への期待を形にしたものであると考えています。暖かさと柔らかさを感じる教室の床、各階にあるメディアコーナーと生徒の憩いのスペース。校舎内のあちらこちらから生徒の笑顔がこぼれてきます。懇談にお越しいただいた時にいくらか見ていただけたことと思います。

職員一同、外観に負けぬ素晴らしい教育の中身を作り上げていこうと努力を続けています。

【前進 ～向かい風を 追い風に～】

今年度の生徒会スローガンが井原デニムに描かれ、新校舎にかけられました。いろいろな苦境がありますが、それを自分を成長させるチャンスに変えて、一步でも前へ進もうという素敵なスローガンです。

【生徒の声を聞く会】

生徒代表、保護者代表、教職員代表による生徒の声を聞く会が7月22日に開催されました。緊張感のあるフォーマルな場で生徒代表が堂々と意見を述べてくれました。生徒の、学校をより良くしていこうという意欲と、保護者から生徒への厳しくも温かい思いが溢れるひとときであったように感じました。学校をより良くしていくために生徒ががんばることを、PTAは応援する、と力強く言われたPTA会長の言葉が心に残りました。